

# 羽ばたけ!羽島っ子 12月号

いちき串木野市立羽島小学校  
 公式ブログ好評配信中 <http://hashima.synapse-blog.jp/hashimasyo>

## 一人一人に相手を思いやる心を

校長 藤田 柳生

12月は国において世界人権宣言が昭和23年(1948年)12月10日の国連総会において採択されたことを記念して、昭和24年から、毎年12月10日を最終日とする1週人権宣言の趣旨及びその重要性を広く訴えかえるとともに人権尊重思想の普及高揚を図るための各種の啓発活動を行っています。鹿児島県においてもこの期間中に各種啓発活動を行っています。本校では、12月の全校朝会時に大石先生が「ふわふわ言葉」「ちくちく言葉」について話をし、学校生活が一人一人にとって楽しくなるためには、人を認めるようなふわふわ言葉を使うことの大切さを指導しました。

例：ふわふわ言葉 人から認めたり誉められたりする言葉(すごいね、さすがなど)  
 ちくちく言葉 人から蔑まされるような言葉(ばかじゃない、いやだなど)  
 そして、最後に私から二つの詩を朗読をししめくりました。(次の詩はそのうちの一つです)

ひとこと(詩集「二つの木の実」より 著者 藤田久子) 県人権教育資料から

いえばよかったひとこと	いわねばならぬひとこと
いいそびれたひとこと	いってはならぬひとこと
さまざまな思いをこめた 胸に重ねて 生きてゆくには	大切な言葉のひとつひとつを あまりにも わたしの心は 小さすぎます。
グサリと 心に刺さった ひとこと かなしみを浴びた ひとこと	やさしく つつんでくれた ひとこと はきすてるようなひとこと
たったひとつのさりげない言葉が 魔術のような言葉の綾に	人の心を まどわせ 絶望の淵に立たせる とまどう わたし

言葉を消す 消しゴムはない という ひとことが  
 クローズアップされ 心に残ります。

今、校庭では5・6年生が、ベースボール型のゲームをし、互いに相手チームに勝とうと必死に味方を応援し歓声が校庭に響き渡っています。

一人一人がかげがえのない子どもたちです。楽しそうにしている時ばかりであればいいのですが、人が集まるとそうばかりではありません。時折、するどい言葉を相手に投げ、その言葉で傷つく子どもがいるのも本校の実態です。

そういう時に、先生はもちろんのこと、周りの友だちが傷ついた友だちにそっと声をかけ、言った本人にその言葉のみにくさを注意できる学校にしなければと強く思います。

そして、傷ついた本人が何事もなかったかのように立ち直るまで学校は見届けなければならないと強く思います。

## 地域が育む「かごしまの教育」 県民週間

11月1日~7日に行われた県民週間には、延べ人数で200名程度の参観をいただきました。ありがとうございました。いつも子どもたちを温かく見守り、ご支援いただき感謝いたします。



授業参観をしていただいた方々の声の中で、多く聞かれたのが「複式学習指導」についてです。担任が2つの授業を行う難しさ・児童の学習理解について心配の声も聞かれました。授業中の決まり事、ルールなどは毎日の授業で積み上げながら出来ていくものです。各担任を中心としながら学級での話の仕方などを含む学習のしつけに関して再度確認をしていきます。子どもたちへの対応の仕方に「厳しさと優しさのバランス」を意識しながら、子どもたちに接していきたいと思えます。「公民館長と語る会」では児童数減少と羽島地区の住宅事情等を出席者で真剣に話し合っていました。

読書月間の取組 読書への関心を高めたりすることを目的に「読書月間」を設定し、様々な取組を行いました。職員や保護者による読み聞かせや読書祭り、読書郵便などに取り組みました。地域の読み聞かせボランティアによる読み聞かせやリーディングパーティとの交流読書も行われ、本にたくさん親しむ1カ月となりました



10月には「まぐろの出前授業」「豊かな海作り事業」が行われました。マグロ釣りやヒラメの放流などの2つの体験的な学習から、水産資源を大切にすること、海の環境をきれいに保っていくことについて考えました。

## まぐろ出前授業 豊かな海作り事業

## がんばったぞ持久走大会 地域の方々との学習

12月3日、持久走大会が行われました。保護者や地域の方々のたくさんの声援の中、子どもたちは海の子マラソンでの練習の成果を発揮すべく、全力で走りました。その中で2年生の黒木悠依さんは新記録を5秒更新する快走でした。

地域の方々にご協力をいただきながら、様々な体験活動にチャレンジすることができました。2年生は芋ほりや玉ねぎの苗植えをすることができました。たくさんのお話を教えていただきました。



芋ほり 玉ねぎ植え